



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社ヒラノテクシード 上場取引所 東
 コード番号 6245 URL <https://www.hirano-tec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡田薫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員総務部門管掌 (氏名) 原昌史 TEL 0745-57-0681
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	42,423	12.0	3,093	△22.4	3,219	△21.9	2,243	△27.7
2022年3月期	37,866	—	3,986	—	4,122	—	3,103	—

(注) 包括利益 2023年3月期 2,361百万円 (△26.9%) 2022年3月期 3,229百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	148.87	—	6.4	5.8	7.3
2022年3月期	206.07	—	9.3	8.8	10.5

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	60,522	35,997	59.5	2,388.46
2022年3月期	50,461	34,463	68.3	2,287.99

(参考) 自己資本 2023年3月期 35,997百万円 2022年3月期 34,463百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△10,249	90	9,518	13,161
2022年3月期	2,300	△1,119	△934	13,801

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00	843	27.2	2.6
2023年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00	843	37.6	2.4
2024年3月期(予想)	—	28.00	—	28.00	56.00		40.2	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	4.0	1,040	△30.5	1,100	△29.4	750	△30.5	49.76
通期	41,000	△3.4	2,920	△5.6	3,000	△6.8	2,100	△6.4	139.34

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.12「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2023年3月期	15,394,379株	2022年3月期	15,394,379株
2023年3月期	323,149株	2022年3月期	331,562株
2023年3月期	15,067,989株	2022年3月期	15,060,409株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	41,093	15.7	2,816	△16.0	3,060	△15.1	2,182	△22.6
2022年3月期	35,513	—	3,353	—	3,606	—	2,819	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	144.84	—
2022年3月期	187.24	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	50,892	26,670	52.4	1,769.64
2022年3月期	40,445	25,202	62.3	1,673.15

(参考) 自己資本 2023年3月期 26,670百万円 2022年3月期 25,202百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから4ページの「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 役員の異動	18
(2) 生産、受注及び販売の実績	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の各種規制が緩和され、経済活動の正常化が進み景気停滞から持ち直す動きとなりましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰は依然継続しております。また、欧米諸国でのインフレ抑制のための政策金利引き下げによる、急激な為替相場の変動などは、景気回復基調を鈍化させました。

世界経済も米国などでは経済は回復傾向で推移いたしました。急激なインフレ傾向になり、欧州においてもエネルギー輸入制限等が経済活動の制約になりました。このほか、銀行の破綻など欧米の金融システム不安もあり、景気下振れリスクは依然として存在しており、不透明な状況であります。

中国のゼロコロナ政策が年末に解除となり、停滞していたサプライチェーンの再稼働や、産業資材等の供給不足、価格高騰の緩和が期待されましたが、解消は限定的となり、厳しい状況が続いております。

当社グループにおきましては、昨年に引き続き「今から100年継続できる会社にしよう」のスローガンのもと新年度をスタートしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は42,423百万円（前期比12.0%増）となり、利益面では営業利益は3,093百万円（前期比22.4%減）、経常利益は3,219百万円（前期比21.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,243百万円（前期比27.7%減）となりました。

電装品を中心とする産業資材の不足は徐々に解消しつつあるものの、依然として納期の長期化や価格の高止まりが続いております。このため、生産性の低下、産業資材や人件費の高騰等の影響が生じ利益率が低下しておりますが、部品・装置の共通化による利益率の改善に取り組んでおります。

受注につきましては、顧客の中長期にわたる設備投資計画を背景に、電気自動車関連市場及び電子部材関連市場を中心に高水準に推移しましたが、一部において、市場ニーズの変化による仕向地や納入時期の見直し等が発生する場面も見られ、調達部材の型式変更や納期の変更、生産工程の再調整や生産ライン確保なども、生産性低下への要因となりました。また、顧客の生産計画変更により設備投資が見直され第1四半期において受注がありました1件がキャンセルとなっております。なお、当該キャンセルについては、発生費用は回収しており、損益に与える影響は軽微であります。

当連結会計年度における受注高は53,494百万円（前期比26.3%減）、受注残高は79,906百万円（前期末比16.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（塗工機関連機器）

当セグメントは、二次電池向け電極塗工装置を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は31,179百万円（前期比17.5%増）、うち国内は2,327百万円（前期比5.6%減）、輸出は28,851百万円（前期比19.9%増）となりました。また、セグメント利益は1,985百万円（前期比29.0%減）となりました。

受注残高につきましては68,912百万円（前期比28.6%増）、うち国内は1,533百万円（前期比45.0%減）、輸出は67,378百万円（前期比32.6%増）となりました。

（化工機関連機器）

当セグメントは、成膜装置を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は9,774百万円（前期比2.2%減）、うち国内は3,363百万円（前期比24.7%増）、輸出は6,410百万円（前期比12.2%減）となりました。また、セグメント利益は2,069百万円（前期比6.3%増）となりました。

受注残高につきましては9,750百万円（前期比34.0%減）、うち国内は5,047百万円（前期比1.6%減）、輸出は4,703百万円（前期比51.2%減）となりました。

（その他）

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っており、売上高は1,470百万円（前期比10.2%増）となり、セグメント利益は82百万円（前期比59.8%減）となりました。

受注残高につきましては、1,242百万円（前期比159.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ9,204百万円増加し、48,158百万円となりました。その主な要因は、売上債権及び契約資産が6,603百万円、前渡金が2,724百万円それぞれ増加したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ855百万円増加し、12,363百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産合計が652百万円、投資その他の資産が127百万円それぞれ増加したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ8,324百万円増加し、23,428百万円となりました。その主な要因は、短期借入金10,100百万円増加したこと、及び前受金が1,391百万円減少したことによります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ202百万円増加し、1,096百万円となりました。その主な要因は、長期借入金184百万円増加したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ1,533百万円増加し、35,997百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益を2,243百万円計上したこと、並びに配当金を843百万円支払ったことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ639百万円減少し、13,161百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは10,249百万円（前連結会計年度は2,300百万円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益が3,219百万円になったことによります。また、主な減少要因は売上債権及び契約資産が6,603百万円、前渡金が2,724百万円、未収消費税等が1,456百万円それぞれ増加したこと、並びに法人税等を2,366百万円支払ったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは90百万円（前連結会計年度は1,119百万円の支出）となりました。主な増加要因は、有価証券の売却による収入が1,300百万円あったこと、定期預金の払戻による収入が837百万円あったことによります。また、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出が888百万円あったこと、有価証券の取得による支出が799百万円あったこと、無形固定資産の取得による支出が184百万円あったこと、投資有価証券の取得による支出が106百万円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは9,518百万円（前連結会計年度は934百万円の支出）となりました。主な増加要因は、短期借入金の純増加額が10,100百万円あったこと、長期借入れによる収入が770百万円あったことによります。また、主な減少要因は長期借入金の返済による支出が506百万円あったこと、配当金の支払額が843百万円あったことによります。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	63.3	69.5	72.7	68.3	59.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	59.5	38.5	102.4	62.1	51.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	8.3	—	46.8	32.1	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,115.3	—	292.4	283.9	—

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ 2020年3月期及び2023年3月期につきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは算定しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウィズコロナを前提とした経済活動の正常化が期待されますが、世界的な物価の高止まり、産業資材の供給不安に加えて、金融資本市場の変動リスクなど、景気の下振れ懸念は払拭できない状況であります。

このような状況の中、当社グループといたしましては、エネルギー関連分野を中心とした、活発な受注環境に支えられ高水準な受注残高となっており、一層の納期管理、生産性向上を推進するとともに、顧客の設備投資動向も注視し、新たなる市場の需要を取り込み、中長期での成長を目指してまいります。

現段階におきまして、次期の売上高は41,000百万円、営業利益は2,920百万円、経常利益は3,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,100百万円を見込んでおります。

なお、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、地政学的リスク並びに市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,020,286	11,744,679
受取手形、売掛金及び契約資産	20,822,629	27,309,645
電子記録債権	303,164	419,661
有価証券	3,999,982	2,299,889
仕掛品	199,334	311,393
原材料及び貯蔵品	155,955	335,991
前渡金	775,554	3,499,729
その他	739,221	2,303,688
貸倒引当金	△62,606	△66,174
流動資産合計	38,953,521	48,158,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,035,780	6,919,424
減価償却累計額	△2,453,326	△2,679,880
建物及び構築物 (純額)	3,582,453	4,239,543
機械装置及び運搬具	3,646,701	3,771,253
減価償却累計額	△2,881,610	△2,905,848
機械装置及び運搬具 (純額)	765,091	865,404
土地	2,099,292	2,099,292
リース資産	12,456	12,456
減価償却累計額	△4,550	△7,041
リース資産 (純額)	7,905	5,414
建設仮勘定	116,718	23,509
その他	859,027	921,265
減価償却累計額	△674,132	△745,726
その他 (純額)	184,894	175,538
有形固定資産合計	6,756,356	7,408,703
無形固定資産		
ソフトウェア	119,512	514,263
ソフトウェア仮勘定	475,267	156,418
電話加入権	516	516
その他	1,092	1,006
無形固定資産合計	596,390	672,204
投資その他の資産		
投資有価証券	3,378,641	3,630,312
長期前払費用	59,848	62,995
退職給付に係る資産	69,065	72,467
繰延税金資産	332,445	170,917
その他	315,673	346,312
投資その他の資産合計	4,155,674	4,283,004
固定資産合計	11,508,421	12,363,912
資産合計	50,461,942	60,522,418

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,225,200	3,442,662
電子記録債務	4,542,091	4,735,159
短期借入金	—	10,100,000
1年内返済予定の長期借入金	428,596	508,416
リース債務	2,491	2,491
未払金	1,399,414	1,848,234
未払費用	171,277	159,030
未払法人税等	1,480,764	91,766
前受金	3,302,697	1,911,118
賞与引当金	244,430	260,420
製品保証引当金	65,639	35,677
その他	241,611	333,531
流動負債合計	15,104,214	23,428,508
固定負債		
長期借入金	309,136	493,300
リース債務	5,414	2,923
役員退職慰労引当金	56,070	67,120
退職給付に係る負債	441,888	452,112
資産除去債務	16,127	16,453
その他	65,518	64,897
固定負債合計	894,154	1,096,806
負債合計	15,998,368	24,525,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,353,184	1,359,730
利益剰余金	30,699,978	32,099,353
自己株式	△386,226	△376,502
株主資本合計	33,514,758	34,930,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,023,437	1,124,666
退職給付に係る調整累計額	△74,621	△57,966
その他の包括利益累計額合計	948,815	1,066,700
純資産合計	34,463,574	35,997,103
負債純資産合計	50,461,942	60,522,418

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	37,866,565	42,423,860
売上原価	30,809,604	35,744,717
売上総利益	7,056,960	6,679,143
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,357,053	1,766,679
給料及び手当	573,170	573,132
役員報酬	169,672	184,399
賞与引当金繰入額	48,176	52,042
退職給付費用	45,356	44,639
役員退職慰労引当金繰入額	11,050	11,050
法定福利及び厚生費	140,522	138,999
旅費交通費及び通信費	54,632	71,896
減価償却費	161,869	162,065
賃借料	42,827	45,442
支払手数料	177,347	—
貸倒引当金繰入額	6,210	3,568
その他	282,144	531,489
販売費及び一般管理費合計	3,070,033	3,585,405
営業利益	3,986,927	3,093,738
営業外収益		
受取利息	3,776	4,133
受取配当金	76,794	86,833
仕入割引	8,255	6,722
受取保険金	50,000	3,256
その他	28,488	64,299
営業外収益合計	167,316	165,244
営業外費用		
支払利息	8,102	27,893
為替差損	16,997	—
固定資産除却損	3,452	9,308
その他	3,594	1,923
営業外費用合計	32,147	39,125
経常利益	4,122,096	3,219,857
特別利益		
投資有価証券売却益	53,450	—
補助金収入	30,000	—
特別利益合計	83,450	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	625
特別損失合計	—	625
税金等調整前当期純利益	4,205,547	3,219,232
法人税、住民税及び事業税	1,788,025	868,516
法人税等調整額	△686,011	107,586
法人税等合計	1,102,014	976,102
当期純利益	3,103,533	2,243,129
親会社株主に帰属する当期純利益	3,103,533	2,243,129

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	3,103,533	2,243,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119,629	101,229
退職給付に係る調整額	6,685	16,655
その他の包括利益合計	126,315	117,884
包括利益	3,229,848	2,361,013
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,229,848	2,361,013
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,847,821	1,343,972	27,431,870	△392,077	30,231,587
会計方針の変更による累積的影響額			917,602		917,602
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,847,821	1,343,972	28,349,473	△392,077	31,149,190
当期変動額					
剰余金の配当			△753,027		△753,027
親会社株主に帰属する当期純利益			3,103,533		3,103,533
自己株式の取得				△370	△370
自己株式の処分		9,211		6,221	15,433
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	9,211	2,350,505	5,850	2,365,568
当期末残高	1,847,821	1,353,184	30,699,978	△386,226	33,514,758

(単位：千円)

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	903,807	△81,307	822,500	31,054,087
会計方針の変更による累積的影響額			—	917,602
会計方針の変更を反映した当期首残高	903,807	△81,307	822,500	31,971,690
当期変動額				
剰余金の配当			—	△753,027
親会社株主に帰属する当期純利益			—	3,103,533
自己株式の取得			—	△370
自己株式の処分			—	15,433
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	119,629	6,685	126,315	126,315
当期変動額合計	119,629	6,685	126,315	2,491,883
当期末残高	1,023,437	△74,621	948,815	34,463,574

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,847,821	1,353,184	30,699,978	△386,226	33,514,758
当期変動額					
剰余金の配当			△843,754		△843,754
親会社株主に帰属する当期純利益			2,243,129		2,243,129
自己株式の取得				△166	△166
自己株式の処分		6,545		9,890	16,436
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	6,545	1,399,375	9,724	1,415,645
当期末残高	1,847,821	1,359,730	32,099,353	△376,502	34,930,403

(単位：千円)

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,023,437	△74,621	948,815	34,463,574
当期変動額				
剰余金の配当			—	△843,754
親会社株主に帰属する当期純利益			—	2,243,129
自己株式の取得			—	△166
自己株式の処分			—	16,436
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	101,229	16,655	117,884	117,884
当期変動額合計	101,229	16,655	117,884	1,533,529
当期末残高	1,124,666	△57,966	1,066,700	35,997,103

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,205,547	3,219,232
減価償却費	551,076	624,838
長期前払費用償却額	32,550	33,578
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,330	15,990
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,210	3,568
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,190	11,050
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△15,361	△29,962
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△68,467	10,800
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56,217	20,304
受取利息及び受取配当金	△80,571	△90,966
支払利息	8,102	27,893
固定資産売却損益 (△は益)	△704	△399
固定資産除却損	3,452	9,308
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	625
投資有価証券売却損益 (△は益)	△51,066	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△5,884,531	△6,603,513
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△200,804	△306,513
前受金の増減額 (△は減少)	2,193,308	△1,391,579
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,169,891	410,530
未払金の増減額 (△は減少)	△693,789	406,519
未払費用の増減額 (△は減少)	54,564	△12,247
前渡金の増減額 (△は増加)	△57,923	△2,724,175
未消費税等の増減額 (△は増加)	138,251	△1,456,167
未払消費税等の増減額 (△は減少)	149,085	△149,085
その他	50,086	11,508
小計	2,581,644	△7,958,863
利息及び配当金の受取額	80,571	90,861
利息の支払額	△8,102	△27,893
法人税等の支払額	△464,838	△2,366,431
法人税等の還付額	110,953	12,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,300,228	△10,249,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	1,000	837,000
有価証券の取得による支出	△2,100,000	△799,800
有価証券の売却による収入	1,300,000	1,300,000
有形固定資産の取得による支出	△549,837	△888,026
有形固定資産の売却による収入	705	400
無形固定資産の取得による支出	△264,830	△184,903
投資有価証券の取得による支出	△606,605	△106,135
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,121,657	1,382
その他	△20,673	△68,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,119,583	90,849
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	10,100,000
長期借入れによる収入	320,000	770,000
長期借入金の返済による支出	△505,208	△506,016
自己株式の取得による支出	△370	△166
配当金の支払額	△751,540	△843,284
その他	3,033	△2,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	△934,084	9,518,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,366	1,020
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	252,925	△639,604
現金及び現金同等物の期首残高	13,548,342	13,801,268
現金及び現金同等物の期末残高	13,801,268	13,161,663

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。この変更による当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、製品・サービス別セグメントから構成されており、「塗工機関連機器」、「化工機関連機器」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

「塗工機関連機器」は各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥熱処理装置及びライン制御装置の製造販売をしております。「化工機関連機器」は各種成膜装置、不織布・高機能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置、真空装置関連機器、並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置の製造販売をしております。「その他」は染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	塗工機関連機器	化工機関連機器	その他	
売上高				
一時点で移転される財	4,830	4,178	895,729	904,737
一定の期間にわたり移転される財	26,528,446	9,994,748	438,633	36,961,827
顧客との契約から生じる収益	26,533,276	9,998,927	1,334,362	37,866,565
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	26,533,276	9,998,927	1,334,362	37,866,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	26,533,276	9,998,927	1,334,362	37,866,565
セグメント利益	2,796,234	1,946,990	204,309	4,947,534
セグメント資産	20,647,260	8,369,254	530,262	29,546,778
セグメント負債	6,857,719	4,418,221	394,616	11,670,558
その他の項目				
減価償却費	318,545	162,105	26,755	507,406
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	474,265	376,171	31,893	882,330

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	塗工機関連機器	化工機関連機器	その他	
売上高				
一時点で移転される財	22,888	5,875	932,960	961,723
一定の期間にわたり移転される財	31,156,323	9,768,303	537,510	41,462,137
顧客との契約から生じる収益	31,179,211	9,774,178	1,470,470	42,423,860
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	31,179,211	9,774,178	1,470,470	42,423,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	31,179,211	9,774,178	1,470,470	42,423,860
セグメント利益	1,985,019	2,069,815	82,207	4,137,042
セグメント資産	30,388,190	8,619,555	883,410	39,891,155
セグメント負債	7,039,468	2,936,776	715,919	10,692,165
その他の項目				
減価償却費	383,072	164,515	33,489	581,077
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	954,274	290,273	163,063	1,407,611

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)
(単位: 千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	37,866,565	42,423,860
連結財務諸表の売上高	37,866,565	42,423,860

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,947,534	4,137,042
全社費用 (注)	△960,606	△1,043,304
連結財務諸表の営業利益	3,986,927	3,093,738

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位: 千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	29,546,778	39,891,155
全社資産 (注)	20,915,164	20,631,262
連結財務諸表の資産合計	50,461,942	60,522,418

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない資産であります。

(単位: 千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	11,670,558	10,692,165
全社負債 (注)	4,327,810	13,833,148
連結財務諸表の負債合計	15,998,368	24,525,314

(注) 全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない負債であります。

(単位: 千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額 (注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	507,406	581,077	43,669	43,760	551,076	624,838
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	882,330	1,407,611	—	—	882,330	1,407,611

(注) 減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない減価償却費であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	東アジア	欧州	北米	その他の地域	合計
6,289,106	18,217,697	6,845,213	5,542,893	971,655	37,866,565

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な販売先に該当する社数は2社ありますが、販売先と秘密保持契約を締結しているため、顧客の名称、売上高の公表は控えさせていただきます。なお、当該関連するセグメント名は塗工機関連機器・化工機関連機器・その他であります。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	東アジア	欧州	北米	その他の地域	合計
6,895,360	20,432,379	2,231,273	10,619,406	2,245,441	42,423,860

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な販売先に該当する社数は2社ありますが、販売先と秘密保持契約を締結しているため、顧客の名称、売上高の公表は控えさせていただきます。なお、当該関連するセグメント名は塗工機関連機器・化工機関連機器・その他であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,287.99円	2,388.46円
1株当たり当期純利益	206.07円	148.87円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1. 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	34,463,574	35,997,103
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	34,463,574	35,997,103
普通株式の発行済株式数(株)	15,394,379	15,394,379
普通株式の自己株式数(株)	331,562	323,149
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	15,062,817	15,071,230

2. 1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,103,533	2,243,129
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,103,533	2,243,129
普通株式の期中平均株式数(株)	15,060,409	15,067,989

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動 (2023年6月27日付予定)

・新任取締役候補

	よ	し	だ	い	く	こ
社外取締役監査等委員	吉		田	郁		子

・退任予定取締役

	つ	じ	じ	ゆ	ん	こ
社外取締役監査等委員		辻		淳		子

(2) 生産、受注及び販売の実績

① 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
塗工機関連機器	22,323,029	27,352,807
化工機関連機器	7,484,540	7,196,644
その他	1,002,034	1,195,265
合計	30,809,604	35,744,717

(注) 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものを含んでおります。

② 受注実績

当連結会計年度の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
塗工機関連機器	58,466,959	46,503,222	53,588,303	68,912,314
化工機関連機器	12,757,932	4,757,080	14,768,084	9,750,986
その他	1,336,139	2,233,810	479,367	1,242,707
合計	72,561,030	53,494,113	68,835,756	79,906,008

(注) 金額は販売価格によっております。

③ 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
塗工機関連機器	26,533,276	31,179,211
化工機関連機器	9,998,927	9,774,178
その他	1,334,362	1,470,470
合計	37,866,565	42,423,860

(注) 金額は販売価格によっております。